

安全・安心を実感できる「いばらき」の確立について

< 提案・要望先 > 警察庁，総務省，財務省，国土交通省

< 提案・要望内容 >

本県の治安情勢は，刑法犯認知件数が平成 15 年以降 15 年連続で減少するなど，数値の面では治安の回復傾向が継続しております。しかしながら，住宅侵入窃盗，自動車盗，二セ電話詐欺等の県民に身近な犯罪のほか，児童虐待を含む人身安全関連事案，サイバー犯罪，外国人による犯罪等も高い水準で発生しており，これらの犯罪に的確に対処する必要があります。

また，交通情勢についても，人身交通事故発生件数こそ平成 13 年以降 17 年連続で減少しているものの，交通事故死者数は依然として全国ワースト上位にあるほか，飲酒運転による交通死亡事故件数が 2 年連続で全国最多となるなど，予断を許さない状況にあります。さらに，高齢者の交通事故防止，通学路における交通安全の確保等，安全かつ快適な交通環境に向けた課題は山積しております。

このような厳しい治安情勢に加え，本県警察は，全国に比して警察官 1 人当たりの業務負担が高い状況にあり，警察官の増員等によりその改善を図る必要があるほか，東日本大震災を踏まえた大規模災害対策，来年の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会，再来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における安全対策にも万全を期す必要があります。

以上のことから，県民が安全・安心を実感できる「いばらき」を確立するため，下記事項について特段の御配慮を願います。

記

- 1 警察基盤を強化するため，警察官の増員（地方警務官の増員を含む。）や警察車両の増強を図ること。
- 2 犯罪の高度化・複雑化に的確に対応するため，自動車ナンバー自動読取装置の増設並びに DNA 型鑑定機材及び画像鑑定機材の増強を図ること。
- 3 安全かつ快適な道路交通環境を整備するため，特定交通安全施設等整備事業の充実を図ること。
- 4 大規模災害対策を強化するため，科学技術を活用した資機材を含む災害対策用資機材の増強を図ること。
- 5 サイバーセキュリティ対策を強化するため，サイバー空間の脅威に的確に対処することができる人材の育成や資機材の整備を図ること。